

地区だより

…………… 令和3年7月1日発行

ちゅうおう

<地区人口と世帯数>

男 19,152人 女 20,661人
計 39,813人
世帯数：21,041世帯
(6月1日現在)

2021

7月号

市からのお知らせ

【編集発行】

福島市役所広聴広報課
〒960-8601 福島市五老内町3-1
☎525-3710 ㊟536-9828

福島市“唯一”の「女性会長」誕生



えがわじゅんこ

主に福島駅西側の地域を管轄する中央西地区の自治振興協議会において江川純子様
が、新会長に就任しました。

福島市内28地区の自治振興協議会で唯一の女性会長となります。「女性ならではの視点
で地区の振興に努めてまいります。」と意気込みを語る江川新会長。

中央地区の更なる飛躍に期待!!

■問/地域共創課 ☎525-3731

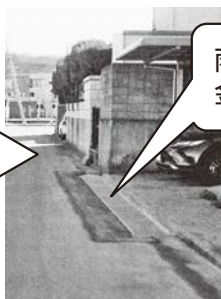
令和2年度に自治振興協議会から提案を受けて施工した取り組みの「一例」です

■中央東地区道路側溝修繕（浸水対策）

【施工前】



【施工後】



雨水が浸透しやすい
金網式の側溝に修繕!

▲上浜町会・腰浜町会様からの提案

■中央西地区街路灯設置（安全対策）



暗い夜道を照らす
街路灯を設置!

▲太田町六華町会様からの提案

自治振興協議会は地域の安全で安心な地域づくりを目的の1つとし、意見交換を行う福島市独自の制度です。



■問/地域共創課 ☎525-3731

まちをもっとおもしろく!

まちなか交流施設「ふくふる」は、福島市中心街にある市の施設です。

サークル活動、会議、イベント、学習スペース、子どもの遊び場、待ち合わせなどさまざまなシーンでご活用いただけます。展示スペースもありますので、日頃の成果発表にもぴったりです。

また、共用使用の場合は使用料「無料」。街なかを訪れた際にふらっとお立ち寄りいただけます。
(専用使用をご希望の場合は事前お申し込みの上、「有料」となります。)

▶交流エリア



▶展示スペース



- ・フリー Wi-Fi
- ・授乳スペース有



▲多目的ルーム



▲休憩スペース

■場 所/福島市本町2-6 1階

(まちなか広場南側)

■開館時間/午前10時~午後7時

■休 館 日/12月29日~1月3日

■問/地域共創課 ☎525-3731

中央学習センターからのお知らせ

【編集】福島市中央学習センター
〒960-8018 福島市松木町1番7号
☎534-6631 ☎533-7592

夏休み特別企画 親子の広場参加者募集!

今年度は、夏休み中に2回開催します。内容は、つくってあそぼう!(科学工作1回)、星空観察(1回)です。
2回連続で申し込んでも、1回のみでの参加でも受け付けます。

- ◇対象者 中央地区内の小学校1年から3年までの児童とその保護者
- ◇定員 科学工作 10組(1組は、保護者1名と児童は兄弟でも参加可能です。) ※I、IIとも先着順となります。
星空観察 12組(1組は、児童1名、保護者1名の2名となります。) ※星空観察は市のバス2台で移動します。

◇開催日時と内容

| | 開催日時 | 内容・講師 | 場所 |
|----|---|---|--|
| I | 7月31日(土) 午前10時~12時 | 楽しい科学遊び ~つくってあそぼう~ ハッポーステロール凧作り、5色の人工イクラ作り、科学実験、科学おもちゃ作り等 元福島市立三河台小学校長 荒木 藤夫 先生 | 中央学習センター 2階ホール |
| II | 8月4日(水) 午後5時半~9時 (17:20学習センター集合、 17:30出発 20:20浄土平 発、21:20学習センター着) | 星空観察 (天体望遠鏡で夏の夜空を観察し、 宇宙や星座の話などを聞く) 福島天文同好会 会長 佐藤 光 氏 福島天文同好会 佐藤 正行 氏 | 浄土平 (雨天時は中央学習 センター2階ホール 午後6時~7時半) |

- ◇参加費 Iは1人200円、IIは1人150円
- ◇申込 7月5日(月)9時~7月12日(月)正午まで、中央学習センター窓口で受け付けます。参加費を添えてお申し込みください。電話での申し込みは、7月7日(水)から受け付けます。
- ◇その他 申し込み後、都合でキャンセルする場合は、すぐにお電話ください。なお、準備の都合で、返金できない場合もあります。

ICT活用セミナー スマートフォン体験講座 ~はじめてのスマホ~ 初心者向け簡単なスマートフォンの使い方

これからスマホ(携帯電話)を使いたいと考えている方を対象に、実際に『スマートフォン』を触って体験しながら初歩的な操作(電話のかけ方・受け方等)や便利な機能(QRコード・インターネット等)を学ぶことで、スマホに対する不安を解消します。

- 日時 ①7月27日(火) ②7月28日(水)
※どちらかの期日を選択し、申し込んでください。
- 時間 午前10時~11時30分(終了予定)
- 場所 中央学習センター 2階ホール
- 内容 『かんたんに操作ができるスマートフォン』を使ってスマホ体験をします。
・基本的な操作の仕方、電話のかけ方・受け方、便利機能(QRコード・インターネット等)、よさなどについて
- 対象者 中央地区在住の一般成人の方で、初めてスマートフォンを使用してみたいと考えている方
- 定員 ①②とも各14名(①②とも先着順)
- 講師 ドコモショップ福島野田店より ●参加費 無料
- 準備物 筆記用具等 ※使用する「スマートフォン」は講師側で準備します。
- 申込み 7月5日(月)~7月18日(日)までの間に、中央学習センター窓口で申し込みください。
※7月7日(水)より電話受付します。

「福島エール川柳」作品募集! ~みなさんのエールを五・七・五の川柳で表現しよう!~

- 各学習センターでは、夏休み期間にあわせて今年も「エール川柳」を募集します!コロナウイルスの影響により自宅で過ごす時間が増えた今だからこそ川柳をつくって応募してみませんか?優秀作品は市のホームページ等で発表いたします。皆様の応募をお待ちしています。
- 募集期間 7月21日(水)~8月30日(月)
 - テーマ 「エール」
 - 応募方法 ①福島市オンライン申請システム
②各学習センターまで提出または郵送
 - 発表 10月上旬頃市ホームページ等による

自宅にしながら川柳を学べる!? 「福島エール川柳動画講座」配信中



応募の前に、福島市公式YouTubeチャンネルを見て、川柳を学んでみよう!

乗蓮寺様より ご寄付いただきました

5月24日、乗蓮寺様(福島市新町)より、中央学習センターへ座布団25枚をご寄付いただきました。ありがとうございました。学習センター事業等で大切に活用させていただきます。



令和やさしい地元学

信夫野・歴史の細道 第4回

ふくしまけん歴史の案内人の会 会長: 紺野 義行 氏
(元福島県遺跡の案内人の会)

政宗・氏郷・吉清で奥羽仕置 「若松」の誕生

*氏郷の辞世の句「限りあれば吹かねど 花は散るものを ころもじかき春の山風」

天下人となった豊臣秀吉は、自ら奥州に向き仕置を指揮するため天正18年(1590年)の8月6日に白河を、9日に会津の地を訪れ、配下の蒲生氏郷を会津92万石の大名に配置した。氏郷は近江国日野(現:滋賀県)に生まれ、人質として織田信長に臣従した。やがて、信長は彼の器用に惚れ込み、次女の娘婿として氏郷を迎えた。本能寺の変後は近江国日野城主となり、天正16年(1588年)には伊勢国(現:三重県)に松坂城を築城した。氏郷と吉清は新領地に着くとすぐに仕置に出陣した。秀吉に仕置の案内を命ぜられた伊達政宗と氏郷はのちに一時行動をともして大崎氏旧領(現:宮城県)にはいった。8月18日から政宗とともに中新田城(宮城県北西部)、古川城、岩手沢城、さらに葛西領清水城に向い、さらに東に向かい佐沼城(宮城県登米市)に攻め入った。一方、木村吉清は途中で氏郷と別れ、浜街道を北進して葛西晴信の本城寺池城(登米市)に迫った。その後、佐沼城をめざして進撃し、氏郷の軍とともにそれを攻め、葛西氏はここに滅びた。葛西・大崎の地の平定とともに、8月下旬、会津黒川城(現:鶴ヶ城)に帰還した。



蒲生氏郷の城「鶴ヶ城」

氏郷はさっそく会津黒川の地名を会津「若松」と改めた。7層の天守閣を築くとともに、若松城下に外堀を築き、郭外の周りには寺社を配し、若松城と城下町の基礎を築いた。高層の天守閣をもつ若松城の歴史は氏郷の時代から始まる。瓦びきの建物が並び、石垣や土塁によって堅く守られた城の姿は、会津の武家文化の象徴である。会津においても新たな城下の整備に着手、郭内に武士を、郭外に町人を住ませ城下町を造った。また商業活性化のために自由に売り買いできる規制緩和策の楽市楽座を發展させた。その際、新しい城下町にふさわしく、郷里である近江国日野城に近い「若松の杜」の名にちなんで城下の「黒川」を「若松」に変え、会津若松としたのである。

各講座の受付時間は午前9時から午後5時45分まで(火曜日・祝日は除く)となります。

! 新型コロナウイルスの影響により、日程の変更や中止になる場合もありますのでご了承ください!